

仕様書 4（海外における販路開拓活動）

1 事業名

アメリカ主要食品展示会におけるコメ・コメ関連食品プロモーション（ニューヨーク）

2 事業目的

円安の影響などにより日本産米の輸出が伸びている北米市場において、日本産コメ・コメ関連食品の魅力を、食品関係者に広く伝え、日本産米の輸出を拡大する事を目的とする。

3 前提条件

- (1) 対象国・地域：アメリカ（ニューヨーク）
- (2) 対象品目：コメ、パックご飯、米粉・米粉製品、米菓、日本酒
- (3) 企画提案書の作成に当たっては以下のとおりとする。
 - ・企画提案書は A4 縦で 4 枚以内とする。
 - ・費用概算が分かるよう、別紙にて積算内訳書を作成すること。

4 事業内容

- (1) 主要食品展示会（Summer Fancy Food Show 2025）への出展及び商談会の実施
 - ① 実施時期：2025 年 6 月 29 日～7 月 1 日（展示会）
 - ② 場所：ニューヨーク市内（SFFS）
 - ③ 日本側参加者：会員 23 社、5 泊程度を想定すること。
 - ④ 全米輸の独立ブースを設営し、参加会員の小間を確保すること。
展示会主催者へ小間代金は全額全米輸が立て替えること。
独立ブース代金は、事業費の内数とする。施工業者との契約は委託事業者となる。
立て替え金額は、提示している事業費の内数となる。
 - ⑤ 参加会員ヒアリング：事業実施にあたって、参加会員の意向を踏まえた事業とすべく、事業に関する意見要望等のヒアリングを行うこと。

- ⑥ 事前セミナー：展示会に先立ち、コメ・コメ関連食品に係る現地情報（商習慣・商流・購買傾向等）を参加会員へ周知する事前セミナーを実施すること。その際、可能な限り実際に現地で日本産コメ・コメ関連食品を扱うバイヤー等についても招へいし、その立場から見たこれら品目への評価等を説明してもらうようにすること。
- ⑦ 実演・試食・試飲の実施：バイヤー等（to B）向け及び消費者（to C）向けを念頭に、全米輸ブースにおいて、日本産コメ・コメ関連食品の魅力を発信するプロモーションやおにぎり試食（「おにぎり PR」）の開催すること。

なお、「おにぎり PR」は、一般社団法人「おにぎり協会」等と連携した取り組みとし、経費は事業費の内数とすること。
- ⑧ 広報・情報発信：SNS等を使った日本産米のPR、おにぎりPRの情報発信を行うこと。
- ⑨ 現地に商流等が無い、若しくは輸出業務に不慣れな会員がいる場合等は、現地ディストリビューター、インポーターを招へいし、現地における商流構築に向けた助言を行う等、商流設定・拡大を図ること。又は、会員の要望を踏まえ、事業費の範囲内で全米輸が契約している専門家（1名）を帯同する等して伴走支援を行うこと。

（2）事業実施後のアンケート実施

参加会員及び展示会に参加したバイヤー等へ商談結果（成約見込み金額等）、課題、感想等について聞き取りを行うこと。特に、バイヤー等には、商談にあたってネックになった点（価格、商流、品質、新規性など）を聞き取ること。

なお、事業の詳細については、事務局との相談の結果、変更する場合がある。

5 事業報告（事業報告書の作成・提出）

上記4（1）及び（2）に関する実施報告書を作成すること。

- （1）速報版の作成：事業終了後1か月以内に速報版（事業概要、参加者、バイヤー等、状況のわかる写真、成約見込み金額等）を提出すること。
- （2）最終報告書の作成：報告書には、商談結果（成約見込み金額等）と商談のフォロー内容を取りまとめるとともに、米国向けの今後の輸出拡

大に向けた詳細な提言（課題・今後の対応等）を盛り込むこと。また、事前セミナー及び商談会当日のプレゼンテーション等についてはその説明内容の概要も作成すること。

6 履行期間

契約締結日から 2026 年 3 月 31 日まで